

教育目標 自ら学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成

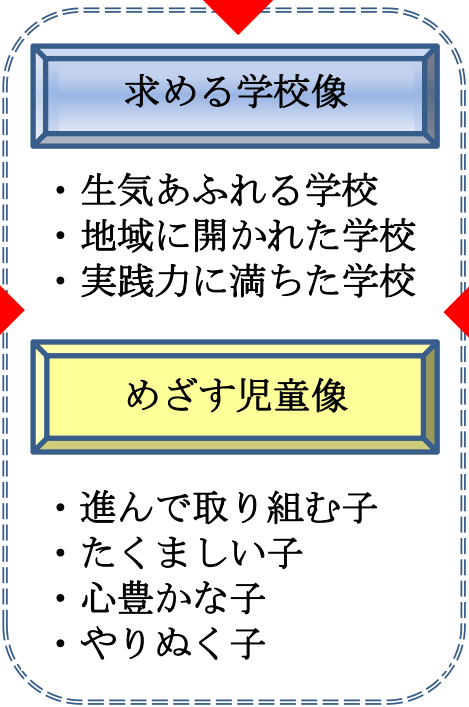
響き合う教育と共に

【知】 確かな学力の育成

- 言語活動を重視した学習、体験的・問題解決的な学習など、多様な指導の方法や形態を工夫し、主体的に学習に取り組む態度を身に付けさせる。
- 指導内容の系統性・発展性に留意しながら、基礎的・基本的事項の確かな定着と活用を図る。
- 情報源としての図書やコンピュータなどを活用した学習を積極的に推し進め、生涯を通して学び続ける意欲と態度を育成する。
- 外国語教育や道徳教育の充実を図る。

【徳】 豊かな人間性の育成

- 基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに、自ら進んで実践しようとする態度を育てる。
- 一人一人の思いや願いを大切にし、自尊感情を高め、互いに認め合い共に生きていこうとする態度を育てる。
- 生命や人権を尊重する心を養うと共に、家庭や地域社会とも連携して、人権意識の高揚に努める。
- キャリア教育をすべての教育活動の中で推進し、自立した心豊かな社会人になるための基礎を育む。



【体】 たくましい心身の育成

- 色々な運動の楽しさや良さを体験することで、体力の向上と気力の充実を図り運動に親しむ意欲と態度を育てる。
- 個及び集団で運動する楽しさを味わうとともに、望ましい人間関係づくりを進める。また、自らの身を守る意識と行動力の育成に努める。
- 正しい食事のあり方や望ましい食習慣について具体的に学ぶことにより、心身の健康の向上を図るとともに「生きる力」を育てる。